

(一)第十五回國際労働會議より歸りての挨拶
福岡金次郎

(二)會務報告
齋藤主事

(三)日本労働會館建設及財團法人認可經過
松岡會長

議事

(一)大會準備に關する件

(イ)大會日取決定
十月四日(第一日曜)午前九時於日本労働會館

(二)各組合代議員數

逓友同志會	二〇	運輸労働	六
東京自動車	二	日本建工組合	一
東京鐵工	四〇	セメント	五
中央合同	二五	出版印刷	五
神奈川製材	二	紡織労働	二五
東京革工	五	中央電機	三
八王子労働	二	中央硝子	三
群馬交通	一	神奈川石油	七
製網労働	二〇	神奈川合同	五
埼玉労働	二	秋田樽丸	一
前橋労働	一	神奈川鐵工	二〇
東京水道	二	秋田製材	一

染色労働 關東釀造 一五

合計二百二十九名(組合代表者、理事等もこの中に含む)

(三)大會提出本部案

(イ)労働組合法制定要求の件

(ロ)日本労働會館建設寄附に對し、未應募組合及支部は可及的速かに應募し、完納に至らざるものは、速かに完納せられたし。

(ハ)失業者救済要求に關する件

(ニ)十萬人突破運動進展に關する件

(三)各組合提出議案縮切日
九月十日(縮切以後に大會を開催する組合には別表に外例を設く)

(五)バッヂ製作可否

作製せず 以上一括可決

▲日本労働會館開館式の件(執行委員會案)

(A)日時 九月廿七日より三日間

(B)プログラム
廿七日午後一時

- (1) 司會者挨拶 三本治郎
- (2) 總會同聲歌 松岡 响吉
- (3) 經過報告

(4) 祝辭

(5) 記念講演
友誼團體 各地各組合代表
安部磯雄、新渡戸稻造、鈴木文治、吉野作造
夕食辨當 饗應

(6) 開會之辭

(C)招待者

(1) 社民黨中央執行委員

(2) 建設委員會及顧問

(3) 友誼團體代表者(労働立法促進委員會)

(4) 組合支部代表者

(5) 同盟執行委員及理事

(6) 總同盟中央委員

(7) 新聞及通信記者

(8) 町内代表者

(D)演藝大會 廿七日、廿八日、廿九日(夜)

出演者は各組合支部選出(演出者の旅費其他の経費は支部で負擔の事)

委員長 土井直作 委員 藤原伊之助
柳居孝一郎 近藤銀太郎

(E)開館式豫算

(イ)辨當代(一個五十錢以内) 百五十圓
(ロ)エハガキ代(一枚一組) 五十圓

(ハ)活動寫眞(三日間) 百圓

(ニ)演藝費 二十五圓
(ホ)印刷通信費 七十五圓
計 四百圓也 可決

今後に於ける經營その他に關する件

(A)經常費

電話、電燈、水道、ガス、保險、管理等

(B)收入計畫

(イ)事務所設置の各組合は經常費分擔

(ロ)講堂其の他の料金徴收

(ハ)店舗建設の爲め、一萬圓の借款を起すこと年利二分五厘(郵便貯金利子以上とすること)

▲財團法人日本労働會館役員の件

(イ)理事(十五名)

松岡响吉、大越半忠、小原源一、田中時太郎、齋藤健一、福岡金次郎、原虎一、土井直作、徳水正敏、當清、仲濱藤治、三本治郎、堀越梅男、近藤武男、内田藤七

(ロ)監事(三名)

堀川庄次郎、今井松太郎、茂澤清

(ハ)評議員(三十名)

各組合の寄附金高に應じて所定數を囑託す